

# 関正樹ドクター

## 講演会

子どもはネットやゲームの世界で何をしているんだろう  
～発達障がいをめぐる世界の話しよう～

最近ではインターネットやゲームに関してICD11にゲーム障害が収載されたこと、香川県では2020年4月に施行を目指すとして「香川県ネット・ゲーム依存症対策条例」もあり非常に関心は高まっております。

そして、適切なりテラシー教育や行動嗜癖との関連から、遠ざけようとする動きもあるように思います。けれども、一方で、小学校高学年になれば、ほとんどの子どもが何らかのオンラインゲームをしているのが現状ですし、していなければ話題についていけない部分もあります。我々大人は子どもより、ずっとネットやゲームのことを知りません。

子どもに適切なりテラシーを伝えていくためには大人がもっとネットやゲームについて知らなければならぬのではないのでしょうか？子どもの世界を見守る精神科医の視点でお話いただきます。

2020年

3月22日(日)

入場無料  
要事前申込

10時～12時 (開場 9:40)

会場: 宇多津町保健センター  
2階研修室  
宇多津町1881

主催: 特定非営利活動法人メロディー

・入場無料/定員100名/事前申し込みが必要です

<下記のメール、もしくは電話で申し込み下さい>

・MAIL → [v\\_s\\_melody@yahoo.co.jp](mailto:v_s_melody@yahoo.co.jp)

(メールの件名を「3月22日関正樹医師講演会」として下さい)

・TEL → 0877-43-3630 (月～金/9:30～18:30)



[関正樹ドクター プロフィール]

1977年生まれ。児童精神科医。福井医科大学卒。岐阜大学医学部付属病院、土岐市立総合病院精神科を経て、現在は医療法人仁誠会大湫病院(岐阜県瑞浪市)に勤務。

白衣の下にはキャラクターTシャツ、足元からはカラフルな靴がのぞき、丁寧に優しい語り口が患者の心をほぐしていく。

「親戚のおじさんくらいの適度な距離感を大切にしている」親と会話しながら、これまでの子育てを振り返ってもらい共感することから始める。『『こうあるべき』といった子育て観を押しつけるのではなく、会話をしながら気づきを得てほしい。答えは、患者さんの心の中にあるから」

発達障がいや不登校の診療にあたりるとともに地域における発達障がいの啓発活動や地域の療育施設の座談会などに出席し、家族支援を行っている。

著作に、「ゲーム×病気・障がい」『おそいやいひくいたかい107号特集ゲームのやりすぎを心配するとき』(分担執筆、ジャパンマシニスト社) ※「発達障害をめぐる世界の話しよう」(批評社)2020年2月12日発売予定



後援: 宇多津町・宇多津町教育委員会

この講演会は宇多津町発達障害児相談支援事業・宇多津町赤い羽根共同募金の助成を受けています。